## 長久手市行政評価票

事美	<b>美番号</b>	号 121 事業の名称 屋内運動場非構造部材耐震化事業					担当部署		<b>部</b> 教育部		<b>課</b> 教育総務課					
事業の概要		要学	小中学校において、大規模な地震に備え体育館の非構造部材の耐震化を行うことを目的とする。 学校生活における児童生徒の安全確保並びに災害時に地域住民の避難施設となっている小中学校体育館の 天井等の落下防止対策を行う。							他市町の3 (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都 を具体的	を市町村で実施				
(だ) (対)	事業期間事業の対し、何に対します。 事業の意味をどのも またしたい	************************************		生徒と教職員、		を <b>終了(予</b>	・定)年度 対策を行うこと 化を図る。	■ 平成27年 で、児童生徒及び		総事	;	総事業費 (単位:千円) 一般財源 う 国費・県費 地方債 その他 受益者負担額	H24予算 F 0 0 0 0 0 0	H24決算 H25予算   0 20,696   0 20,696   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0		算 H26予算   1,895 13,789   1,895 13,789   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0   0 0
	事業を構 事務事		対象 (だれ、何に 対して)	(いつ、どのよ	目的 手段 うな手段を使って) ~ [10月~] 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H24実系 H25実系 H25目標	遺 早 / 乃	成果指標の目 設定の根		·算 H25決算	位:千円)  H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価 評価の説明
1	耐震調査	業務	小中学校の 児童生徒と 教職員、地 域住民	体育館の非相調査を実施す	◆	得る、体育館の非構造部材の落下防止対	市内6小学校 の体育館、長 中・南中の体 育館及び武 道場の非構 造部材の状 況調査	耐震対策の決定		0 100 % 耐	震調査業務	 の進捗 <sup>20</sup>	0,696 8,40	全 全 定 定 定 定 定 定 定 定 的 定 的 定 的 定 的 定 的 定	- -	調査結果に基づき、必要な対策につい て実施設計を行った。
2	耐震設計	業務	小中学校の 児童生徒と 教職員、地 域住民	体育館の非権設計を実施す	構造部材の耐震 −ることで	大規模な地震に耐え得る、体育館の非構造部材の落下防止対策の工事を実施できるようにする。	る長小・西小・ 東小・長中の体	耐震対策の実施 設計の策定		0 44 % 耐 44	震化設計業	務の進 耐震調査業務	0 12,49 3,789	2 一屋內運動場非構造 5 部材耐震化工事実 施設計業務委託 12,495	<b>A</b> 維持 維持	設計に基づき工事を実施していく。平成26年度は、残りの学校について実施設計を行う。
3																
4																
		事務事業 改善内容(H26以降に実施する内容)										(車業		#	李钿冊	
事務業の善内				改善内容(H26以降に実施する内容)							改修工事:	事業		<b>事</b>	写業概要_	
	)改 ]容									規に実施する事務事業	-					